



2024年5月1日発行  
(毎月1日・1回発行)  
1988年1月27日第3種郵便物認可  
定価50円  
発行/  
公益財団法人横浜YMCA  
広報センター  
〒231-8458  
横浜市中区常盤町1-7  
Tel 045-662-3721

横浜青年

# YMCA NEWS

# 5

## すべての子どもとユースの成長願 多様な体験の機会を提供していく

横浜YMCAでは、横浜YMCAの将来計画として「VISION2034」を策定し、創立150周年(2034年)に向け歩みを進めています。2034年に、どのような社会を目指し、持続可能な地域や社会となるための長期計画として取り組んでいます。「子育て」「生活のクオリティの向上」「ユースエンパワーメント」「社会に貢献」の4つの領域において具体的な取り組みを掲げ取り組んでいます。今号では「子育て子育て」について考えていきます。

横浜YMCAは、創立150周年を迎える2034年に、どのような社会を目指し、持続可能な組織となるための長期計画「VISION2034」を2021年4月に策定し取り組みを進めています。2019年からの新型コロナウイルス感染症の度重なる感染の波に、第1期中期3カ年計画をはじめ、事業やプログラムなどは延期や中止を余儀なくされる状況が続きました。コロナ禍で外出の機会が減少する中、地域との関わりが弱まった高齢者や子育て家庭に向けて、横浜YMCAでは、オンラインにて健康づくりや子育て支援プログラムなどを行いました。第1期の計画で想定していた社会の課題は、新型コロナウイルスによる経

済の悪化により、更に家庭における経済的格差を深刻化させました。このことは子どもの育ちにも影響し、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンが実施した調査によると低所得世帯の子どもの約3人に1人が、スポーツや文化芸術活動、自然活動、社会活動、文化的体験といった学校外の体験が何もない「体験格差」の状態に置かれています。

今回の第2期中期3カ年計画では、養育を必要とする18歳未満を「子ども」、18歳以上35歳未満を「ユース」と定め、「VISION2034」では、子どもからユースまで切れ目のない取り組みとして進めていきます。さらに、これまでの計画と「VISION2034」の見直しを行い、第1期における24の重点項目を第2期では16にポイントを絞り、目標達成のための取り組みを強めていきます。

「子育て子育て」の具体的な目標を2点掲げ、「すべての子どもの豊かな成長を支える機会と環境の充実」では、親子で健康や栄養、運動などについて取り組むヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーンや体力向上キャンペーンにより、日ごろから運動を楽しく取り組むことや食事や栄養について親子で共に考える時間を過ごすことの大切さを伝えていきます。「地域力を高め、子育てを地域で支えるプログラム」では、保育園と健康教育との協働プログラムやファミリーで体験できるプログラムや子育て情報提供、フードバンクの取り組み、横浜YMCA子ども支援基金によるYMCAのプログラム体験の機会を提供することをさらに賛同者を増やし進めていきます。



▲多様な体験や学びの活動を通して今と未来を育むための機会につなげる



## VISION2034 一人ひとりの存在が大切にされる平和な世界に向けて、すべての人の「Spirit」「Mind」「Body」が豊かに育まれ、自ら「Quality of Life」を向上させていくために

**ワイズメンズクラブがサポート サッカーフェスティバル**

湘南とつかYMCAにおいて、とつか・鎌倉・藤沢の3つのYMCAから参加者が集まり、2月に「ワイズサッカーフェスティバル」を実施しました。横浜とつかワイズメンズクラブ・鎌倉ワイズメンズクラブの支援にて実施につながりました。フェスティバルでは、ゲームコーナーや親子キッズコーディネーション体験、親子サッカーなどプログラムを行い、親子で取り組む姿も多岐にわたる子どもたちの多様な体験の機会となりました。



**すべての人に体験の機会を「輪和 Wa コンサート」**

大和YMCAでは、3月に「障がい児者とともに歩む 輪和 Wa コンサート87」(同実行委員会主催)をカンパウンド長老キリスト教会高座教会にて4年ぶりに開催しました。開会にあたり、金井の広実行委員長(大和YMCA運営委員)は「障がい者の存在を知る」「その個性を理解する」「共に歩もう」とミッションを述べました。コンサートはソプラノ歌手の西口則子さん(同運営委員)と同教会オルガニスト山本美津代さんにより行われ230人が心地よい時を過ごしました。



**「子育て応援親子ひろば」 保育園体験や子育て相談も**

横浜YMCAでは、すべての子どもの豊かな成長を支える機会と環境の充実を目指し、地域で子育ての不安などを気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいます。金沢八景YMCAでは、同保育園と横浜市金沢区地域子育て支援拠点とことが協働し未就園児と保護者を対象とした「子育て応援親子ひろば」を毎週火曜日に実施しました。保育園の活動体験や英語・運動あそび、子育て相談、親子交流ひろばを行い、3月までの1年間に延べ126組が参加しました。



**親子同士でつながり深める YMCA子育て応援マルシェ**

横浜YMCAでは、子育ての悩みやストレスを一人で抱えないよう地域で顔の見える関係を作ろうと取り組んでいます。2月には金沢八景YMCA、YMCAマナ保育園、横浜市金沢区地域子育て支援拠点とことこ(運営委託)と保育事業が連携し、子育て・子育て支援の一環として「YMCA子育て応援マルシェ」を三浦YMCAで開催しました。参加した乳幼児親子200人があそびの体験やダンス発表会などを楽しみ、親子や参加者同士のつながりを深めました。



**ホドス**

能登半島地震の発生から4カ月が経つ。今回の地震においても、全国からさまざまな団体や個人がボランティアとして、被災地支援活動に参加している。YMCAもそうした支援活動団体の一つである。日本YMCA同盟は震災直後の1月7日から9日に田口努日本YMCA同盟総主事をはじめとする先遣隊を派遣し、被災状況を把握するとともに、石川県庁において、他のボランティア団体と支援活動に関する調整、協議を行った。その後、YMCAは内閣府からの要請を受けて、新たに開設された1・5次避難所等の運営を担当してきた。これは2016年に発生した熊本地震で、YMCAの担当した益城町総合体育館における避難所運営が、被災者の健康、メンタルケア、プライバシーにも配慮していたとして、高い評価を受けたからである。▼YMCAの自然災害時における支援活動には、1923年の関東大震災以来の100年に及ぶ長い経験と実績がある。関東大震災では、当時の東京YMCA理事長は、内務省経由で乗合自動車500台を緊急輸入し、かつ自動車学校を設けて運転手を養成し、震災後の復興輸送対策に役立てた。その後、1959年の伊勢湾台風、1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災等においても、YMCAはそのノウハウと特色を活かした支援活動を展開した。YMCAにおけるキリスト教精神と、キャンプ活動等を通して培ってきた共同生活の知恵が力を発揮している。

(茂)

# YMCA NETWORK NEWS

## 横浜 学び合う子ども にほんごクラブ

YMCAにもにほんごクラブ(横浜中央YMCA)は、外国につながる子どもたちの居場所をつくることや、基礎的な日本語・学力の習得をサポートすることを目的として春休み期間の3月25日から29日までの5日間に実施された。年齢もルートも異なる8人の参加があった。



子どもたちは、横浜YMCA学院専門学校の学生やユース・シニアボランティアなど延べ16人のリーダーと日本語を勉強したり、工作や身体を使ったゲームを楽しんだ。ユースリーダーが考案したアクティビティは子どもたちから好評だった。

YMCAにもにほんごクラブは5回目の開催となり、参加者・リーダーとともにリーダーが増え、リラックスした環境の中でお互いの違いを尊重し学び合う関係性を築いている。このプログラムは国際・地域協力募金により実施した。

## 湘南とつかYMCA・横浜とつかワイズメンズクラブ 30周年をともに祝い、未来に向け歩み誓う

### 30年通うウエルネスメンバーを表彰 ユースリーダー・ワイズメンバー活動報告も



1994年に現在の場所(戸塚区上倉田町769番地)に開館した湘南とつかYMCA、同時にチャーターした横浜とつかワイズメンズクラブの30周年を祝う「湘南とつか



▲湘南とつかYMCA・横浜とつかワイズメンズクラブ30周年を共に祝った

YMCA・横浜とつかワイズメンズクラブ30周年記念礼拝・感謝会が3月30日に行われた。

横浜YMCA最初の地域センターとして、1972年にスパーマーケットの一角に18坪のスペースで戸塚センターがスタートした。当時人口が増え続ける戸塚区で開設間もなく200人の子どもの登録があった。1978年には、戸塚駅西口から徒歩5分の区役所前に新設されたビルに移転し、体育あそびや小学

生英語、中学学習指導などが行われた。1987年には、地下鉄の乗り入れと合わせて再開発の進む戸塚駅東口から徒歩2分のビル2階に移転した。名称をYMCAとつかサクションに変更し、従来のサッカー、冒険クラブ(野外活動)、小学生英語、アフタースクールに加え、英会話と進学ゼミを開講した。横浜YMCA創立110周年を迎えた1994年に現在の場所に湘南とつかYMCAを開設した。

感謝礼拝では、堀野浩嗣牧師(横浜戸塚バプテスト教会・湘南とつかYMCA運営委員)から「湘南とつかYMCAに据えられた礎」と題して、「イザヤ書28章16節を用いて、地域の人びとの礎として、今後も苦しみや弱い立場にある人に必要な働きを続けていきたいと思います」とメッセージがあった。

感謝会では、若木一美湘南とつかYMCA運営委員長、吉原訓横浜とつかワイズメンズクラブ会長から開会のあいさつがあった。開設以来30年間継続して水泳

## Topics 140years of HISTORY 英語研究会で青年学ぶ(1885年) vol.2

横浜YMCAの創立(1884年)以降、稲垣信牧師(後に第2代会長)の指導を受けながら当初は信仰と修養を計り、講演会を催して市民にキリスト教信仰を呼びかけていました。

翌1885年には、真砂町3丁目の柳下平次郎所有の建物に英語研究会という看板を掲げて当時有数の英語学者高橋五郎氏が指導に当たり、多くの青年たちの集う場となっていました。高橋五郎氏は単に語学者であっただけではなく東京YMCAの機関紙であり同時に当時の代表的な思想雑誌であった「六合雑誌」の初期に毎号論説を書いていた青年の指導者でした。

1902年に横浜YMCAは、横浜英語学校の経営を引き継ぎ、「YMCA附属英語学校」を開校しました。最初の校長にはフェリス和英女学校教頭岩佐琢蔵が就任し、英語を学ぶ青年たちへの英語教育を行い、多くの青年でにぎわっていました。1907年に第1回卒業生から創立45周年の1937年までの31回の卒業生まで600人を超える青年を送り出しました。

(参考「横浜YMCA百年史」「横浜の英語夜学校」日本英学史学会発行1976年9月)



▲多くの青年が英語学校で学び、視野の広い国際人として期待が寄せられた(1910年代)

**ポジティブネットをひろげよう**  
~今月のよくなる一歩~

みず たいせつ し  
**水の大切さを知ろう。**

(Responsibility 責任感)

## グローバル・スタディーツアーinタイ 社会課題を広い視野で学び今後に活かす



▲バンコクYMCAパヤオセンターの子どもたちの歓迎を受け交流した

横浜YMCAでは、3月10日から21日に「グローバル・スタディーツアーinタイ」を5年ぶりに実施し、高校1年生から大学生までの学生と社会人10人がタイ北部を訪れた。

このプログラムでは横浜YMCAがバンコクYMCAと協働して取り組む児童保護プロジェクトを行っているYMCAパヤオセンターを訪問し、貧困や人身売買、子どもの性的搾取といったタイ北部における社会課題について学び、チェンマイYMCAでは環境問題などの地球規模の社会課題について学んだ。

生から大学生までの学生と社会人10人がタイ北部を訪れた。このプログラムでは横浜YMCAがバンコクYMCAと協働して取り組む児童保護プロジェクトを行っているYMCAパヤオセンターを訪問し、貧困や人身売買、子どもの性的搾取といったタイ北部における社会課題について学び、チェンマイYMCAでは環境問題などの地球規模の社会課題について学んだ。

は、子どもたちの登校に付き添い小学校を訪問、農作業やワークなどを行った。日本からの参加者が準備したジャパニーズナイトでは、出身地の紹介、ソーラン節を披露したほか、折り紙、魚釣りゲーム、日本語の歌を歌い交流した。山岳民族の村にホームステイをし、文化や風習に触れ、村の課題を聞く機会もあった。

参加者はスタディーツアーを通してグローバルな社会課題を考え、広い視野を持つきっかけにつながった。今後は学んだことを生かし、それぞれの場で取り組んでいく。



## ♪子育てランド♪ 皮膚を守りましょう

入園・進級などに伴い、新たな生活スタイルを始めた人も多くいらっしゃると思います。そんな4月からひと月が経ち、少し疲れが出やすい5月を迎えました。

十分な睡眠、栄養を摂ることは、免疫力を高めストレスに負けない身体と心作りにとっても大切です。免疫力の低下は、皮膚トラブルにも大きく影響します。乳幼児期は大人より皮脂の分泌量も少なく乾燥しがちであったり、皮膚が薄く、バリア機能が安定していないため、摩擦などにより湿疹や皮膚炎が生じたりします。

花粉症により皮膚炎(赤み、かゆみ)を起こす場合もあります。有効な対策は保湿です。子ども用の低刺激の保湿剤やローションをお風呂上りに塗ることで、乾燥を防ぎバリア機能をあげることができます。肌荒れがひどい時には、手洗い後などもこまめに保湿するとよいでしょう。また、5月は日差しも強くなっていくので、日焼け止めや帽子をかぶるなど、日焼け対策も行って皮膚トラブルを回避しましょう。

(YMCAとつか保育園 主任 後藤基子)

# 横浜 Y.M.C.A.・YW合同 イースター早大礼拝

横浜 Y.M.C.A.・横浜 Y.W.C.A. 合同イースター早大礼拝が3月31日に横浜中央 Y.M.C.A. チャペルにて行われ21人がイエス・キリストの復活を共に祝った。



礼拝では、和寺悠佳牧師(和泉短期大学チャペレン)から「呼ぶ声が聞こえる」を題に、ヨハネによる福音書20章11節から18節を用いてイエスの復活におけるマグダラのマリアの心境を通したメッセージがあった。礼拝後には、横浜 Y.W.C.A. ならびに横浜 Y.M.C.A. の近況報告と有志が横浜外国人墓地に眠る Y.W.C.A.・Y.M.C.A. にゆかりのある方の墓参を行った。

# ユースリーダー感謝会を開催 2023年度490人が活動支えた

2023年度の横浜 Y.M.C.A. の活動には490人のユースリーダー(指導者・Y.M.C.A. スリイダー(指導者・Y.M.C.A. Aでは18歳から35歳までをユースとする)が活動した。



▲感謝会に参加したリーダーを囲んで

3月16日には、横浜中央 Y.M.C.A. にて「第3回横浜 Y.M.C.A. ユースリーダー感謝会」(主催横浜 Y.M.C.A. ユースリーダーシップ開発事業委員会)を行った。

感謝会では半沢真一 青少年指導者養成基金委員会委員長から「Y.M.C.A. は卒業がなくても関わることができるとメッセージがあったほか、伊藤直樹 ユースリーダーシップ開発事業委員長、ユースの活動を支えているワイズメンズクラブ湘南・沖縄部板崎淑子 ユース主査がこれまでの働きに感謝の言葉を

横浜 Y.M.C.A. 第7代理事長の坂田祐は関東学院の初代院長である。1919年の中学関東学院第1回入学式において、「人のために、社会のために、人類のために尽くすこと」を説き、「人になれ奉仕せよ」を校訓とした。(関東学院ウェブサイトをより)「人に仕える」ことはイエス・キリストが示され、Y.M.C.A. に関わる人びとの行動規範のようなものであり、Y.M.C.A. の活動の根底に存在する。

「人を育む CAM.P (酒井哲雄を囲む懇談会編)の背表紙に「1年先を考えるものは種をまき 10年先を考えるものは木を植える 100年先を考えるものは人を育てる」との格言が記載されていた。

## ひとかき

### 1年 10年 100年

総主事 佐竹 博

私たちは目先のことだけでなく将来へのビジョンを持ち、ビジョンの実現のために行動しようとしている。「横浜 Y.M.C.A. 私たちの使命」の実現に向かう中で、

「人を育む」を植える」にあたる。富士山 Y.M.C.A. は100年後の子どもたちへのプレゼントとして、国際交流、多文化共生、自然体験などを行うグローバル・エコ・ウィレッジとして開設した「100年先を考えて人を育てる」場所だ。

坂田祐は、校訓に続けて「その土台は、イエス・キリスト也」と残している。同じ土台に立つ Y.M.C.A. と関東学院はともに1884年創立である。25日には関東学院大学横浜・関内キャンパスにて会員総会を開催する。総主事として1年を振り返り、未来につながる今年度の計画(種)を示し、10年先の「木」と100年先の「人」を共に考える時

述べた。ユースリーダーからは研修会やアジア・太平洋 Y.M.C.A. 大会の報告、またグローバル・スタディーツアー in タイ参加者は現地の様子をオンラインで報告した。

## 2024年度横浜 Y.M.C.A. 入会・始業式

### 新職45人を迎え横浜海岸教会にて

横浜 Y.M.C.A. は、1884年に横浜海岸教会の青年が中心となり誕生し、今年創立140周年を迎える。4月1日には、同教会と YOUTUBE ライブ配信にて2024年度入会・始業式を行った。第一部入会式では、佐竹博横浜 Y.M.C.A. 総主事から45人の新入職員一人ひとりに辞令を手渡した。新入職員を代表し、漆谷宙音さんが「真摯に仕事に取り組み、新たな価値を生み出すよう努めます」とあいさつした。



▲新職員とともに

表彰式で佐竹博総主事が一人ひとりに感謝状を手渡し、感謝の言葉を述べ、これからユースリーダー活動の継続と地域や社会の課題に取り組みでほしいと語った。

## FLASH NEWS

3月31日に、国際ロータリー第2590地区によるウクライナ支援活動として、日本で暮らすウクライナの人びとへのリフレッシュ企画が行われた。日本で生活するウクライナの48人とロータリーの25人の皆さんが富士山 Y.M.C.A. グローバル・エコ・ウィレッジを訪れた。散策や風揚げ、フリスビー、自然との触れ合いやパーベキューなどを行いパーベキューをし交流した。横浜 Y.M.C.A. は、リーダー10人、ウクライナニューススタッフを含めた7人のスタッフが運営のサポートを担った。



4月7日に行われた横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、南武朝鮮初級学校の入学式にて「入学おめでとう応援隊」のボランティア計41人が、入学する子どもたちを見守り祝った。応援隊はさまざまな支援団体や個人がボランティアとして参加し、横浜 Y.M.C.A. から毎年参加している。朝鮮学校に通う子どもたちに嫌がらせや心無い言動がある中で、子どもたちが安心して過ごせるようにと願い活動を続けている。

## 横浜市踊場地区センター指定管理者に 4月から5年間、地域の居場所に



▲地域の人の居場所を目標として運営がはじまった横浜市踊場地区センター

横浜 Y.M.C.A. は、2024年4月から横浜市踊場地区センター(以下、踊場地区センター)の指定管理者となり運営・管理を開始した。昨年7月から8月の公募に応募し、地域特性・地域ニーズを踏まえ、踊場地区センターの基本運営テーマを「100歳を超えて生き続ける街、踊場」として「神と人に仕える幸い」の題でファイリビの信徒への手紙1章9節から10節、マルコによる福音書12章28節から34節を用いて「本場に重要なことを見分け、神と人に仕え、隣人を自分のように愛することを軸に置いて取り組みましょう」とメッセージがあった。続いて佐竹博横浜 Y.M.C.A. 総主事は、新職員に向け歓迎の言葉を述べた後、全職員に向けて2024年度の強調点を伝え「自ら知識を得て、人を大切に思い、持続可能なより良い社会を創っていきましょう」と述べた。続いて、2023年度下半期の顕著な働きと勤続10年・25年の職員を表彰し、最後に「横浜 Y.M.C.A. 私たちの使命」を交読し新年度をスタートした。

## 5月25日(土)に 会員総会を開催

横浜キリスト教青年会会則第19条に基づき、2024年度横浜 Y.M.C.A. 会員総会は、5月25日(土)午後2時からハイブリッド(対面+関東学院大学横浜・関内キャンパスオンライン)によるライブ配信)にて開催することが4月18日に行われた理事・常議員会において承認された。総会の実施方法や決議方法などについては、準備委員会(廣瀬泰弘委員長)において検討が進められている。会員総会では、2023年度の横浜 Y.M.C.A. の事業、決算報告のほか、2024年度の事業計画・方針、予算案について協議、常議員の選出、会員表彰などが行われる。

## ワイズ 世界のワイズと連帯 コーナー 東日本区湘南・沖縄部

ワイズメンズクラブでは世界規模で毎月取り組むべき強調テーマを定めています。4月はW4Wでした。W4Wとは、Week for Waste(ゴミのための週)の略で、ワイズメンズクラブと地域社会を結びつけ、よりクリーンな地球を目指して統一した行動するキャンペーンです。2万人を超える世界中のワイズメンが、4月中に、ゴミ拾いやごみ排出量を減らす工夫をしました。ワイズメン一人にとっては小さな活動ですが、世界中のみんなで行うと大きな力になります。ワイズメンズクラブが世界規模であることの意味がここにもあります。(ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区湘南・沖縄部 書記 古田和彦)

横浜中央YMCA Tel 045-662-3721  
 横浜北YMCA Tel 045-433-4321  
 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151  
 横須賀YMCA Tel 046-854-5126  
 川崎YMCA Tel 044-932-2031  
 厚木YMCA Tel 046-244-4181  
 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859  
 YMCA山手台センター Tel 045-813-1022  
 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768  
 金沢八景YMCA Tel 045-782-3003  
 YMCA東とつかセンター Tel 045-392-3747  
 大和YMCAライフサポートセンター Tel 046-264-3192

横浜YMCAワグサポートセンター アンジュ Tel 045-867-0090  
 横浜YMCAワグサポートセンター レザン Tel 045-860-5252  
 YMCAあつぎ保育園 ホサナ Tel 046-222-8619  
 YMCA山手台保育園 アルク Tel 045-813-1022  
 YMCAとつか保育園 Tel 045-870-3663

YMCA マナ保育園 Tel 045-790-3588  
 YMCAとつか乳児保育園 Tel 045-870-3235  
 YMCAつるみ保育園 Tel 045-500-5030  
 YMCAかわさき保育園 Tel 044-520-1825  
 YMCAいずみ保育園 Tel 045-800-3010

YMCA東とつか保育園 Tel 045-820-5588  
 YMCA東かながわ保育園 Tel 045-440-3763  
 YMCAたかつ保育園 Tel 044-281-7833  
 金沢八景YMCA保育園 Tel 045-353-5130  
 YMCAオベリン保育園 Tel 042-707-9974  
 大和YMCA保育園 Tel 046-214-3192  
 辻山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 0544-54-1151  
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 046-888-2100  
 鶴見中央YMCA Tel 045-508-7800  
 YMCAライフサポートセンター 鶴見 Tel 045-506-0131  
 本部事務局 Tel 045-662-3721

# INFORMATION

## 横浜YMCA



●新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。(参加費は税込み)

### レクチャー

#### ■イングリッシュセミナー

日時 5月17日(金)午前10時～正午  
 会場 鎌倉YMCA・オンライン(Zoom)  
 テーマ Türkiye  
 ゲスト Merve Nur Din さん(トルコ)  
 参加費 会員1,200円、一般1,500円  
 申込み kamakura\_info@yokohamaymca.org  
 問合せ 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859  
 ○トルコ政府留学生として2022年に来日されたマルベさんはElectrical-Electronically Engineeringを専門としています。日本と交流の深いトルコの文化について学びます。

### キリスト教理解

#### ■とつか聖書を学ぶ会

イエス・キリストが教えた生き方 ～The way of JESUS～  
 日時 5月9日(木)午前10時30分～  
 会場 湘南とつかYMCA4階教室  
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)  
 参加費 無料  
 問合せ 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768

ymsports@yokohamaymca.org  
 ○聖書を一緒に学んでみませんか。

### イベント

#### ■横浜YMCA英語学校ハイキャンププログラム HI-Power Summer

日時 7月21日(日)～29日(月)  
 訪問先 米国ハワイ州オアフ島(ノースショア)  
 対象 小学校3年生～高校生(17歳以下)  
 参加費 プログラム研修参加費(YMCA手配)330,000円、旅行代金・渡航手続関連費用(旅行会社手配)110,000円(燃油サーチャージ74,190円/2024年2月2日時点、ESTA登録申請費用は含まず)  
 説明会 オンライン 5月6日(月・祝)午前11:00～正午、午後2時～3時、午後6時30分～7時30分・11日(土)午後2時～3時  
 申込み 説明会の申込みはQRコードから。詳細は以下QRコードにてご覧ください。  
 問合せ 湘南とつかYMCA 英語学校 Tel 045-864-4768

### 子育て支援

#### ■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日時 5月22日(水)午前10時～11時、31日(金)午後1時30分～2時30分

会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ  
 対象 横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方  
 問合せ 横浜子育てサポートシステム中区支部事務局 Tel 045-663-0676

#### ■プレママDay

日時 5月28日(火)午前10時～11時  
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ  
 対象 第1子妊娠中の方  
 内容 タッチケア体験とおしゃべりタイム  
 問合せ 金沢区地域子育て支援拠点とことこ Tel 045-780-3205

### 採用説明会

#### ■2025年卒 スポーツインストラクター職採用説明会

日時 5月11日(土)午前10時～正午  
 会場 横浜中央YMCA  
 内容 採用説明会  
 申込み マイナビ2025にてお申込みください。  
 問合せ 横浜YMCA本部事務局 Tel 045-662-3721

### 学校説明会

#### ■YMCA健康福祉専門学校

日時 5月11日(土)、25日(土)午前10時～午後2時～、20日(月)午後6時～

内容 体験授業・AO入試・高等教育無償化説明会  
 申込み QRコードからお申込みください。  
 問合せ Tel 046-223-1441

#### ■横浜YMCAスポーツ専門学校

日時 【学校入試説明会】5月6日(月)・11日(土)・12日(日)・18日(土)午前10時30分～/午後2時～【説明会&保育実技体験】5月25日(土)午前10時～  
 申込み QRコードからお申込みください。  
 問合せ Tel 045-864-4990

#### ■横浜YMCA学院専門学校 国際情報ビジネス科

日時 5月18日(土)午前10時～正午  
 内容 オープンキャンパス/学校説明会  
 申込み Tel 045-661-0080 gakuin-ji@yokohamaymca.org  
 ご都合が合わない場合はご相談ください。○専門学校では個別の相談や見学も受け付けています。

### ボランティア情報

横浜YMCAでは、「ユースリーダー」(指導者)を募集しています。みなさんの個性を活かした活動をしてみませんか。詳細は各YMCAへ。

## リフレッシュデイキャンプin三浦 いちご狩り

ウクライナから避難している人びとのための第3回「リフレッシュデイキャンプin三浦」を4月13日に、支援活動が続けるナチュラルコープ・ヨコハマの協力により行い、横須賀にある嘉山農園でのいちご狩りに39人が参加しました。午後には、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジに移動し、自然の中でランチやスマア作りをしながら交流しました。参加者の一人は「摘みだすのいちごはおいしかった。皆と交流しリフレッシュできた」と話しました。ウクライナの人びとに渡してほしいと静岡県農家の方からビーツが2ケース寄せられ参加者に配布しました。



## 桜美林学園と横浜YMCA 包括的連携協定 「子ども航空教室へ行こう！」

桜美林学園と横浜YMCAが締結している包括的連携協定の取り組みとして、3月20日に桜美林大学多摩キャンパス(航空・マネジメント学群)で「子ども航空教室へ行こう！」が行われました。横浜YMCAの学童クラブなどに通う小学2年生から5年生の37人の子どもたちが、空と飛行機に関するプログラムを体験しました。ITや模型を用いて飛行機の仕組みを学ぶ航空教室、管制官とパイロット役として離着陸の指示を英語で行う「Aviation English」授業を体験しました。操縦体験では、コックピット内に座り、日本と外国の景色が映し出され本格的で臨場感ある体験ができました。



## 国際・地域協力募金受付中

タイ、ミャンマーでの教育・自立支援、カンボジアで教育支援、地域協力支援(国内)、緊急支援活動などに用いられます。

### ウイルス感染防止対策の取り組み

日常的な消毒清掃、扉や窓の開放等の感染予防対策を行っています。施設内におけるマスク着用は、個人の判断を基本としますが、各クラスやプログラム参加時は、それぞれの留意事項に従い参加をお願いします。



戸塚で生まれ育った私は1979年頃からYMCAの活動の恩恵を受けてきました。当時、戸塚YMCA(戸塚区役所近く)がサッカークラブを横浜市立名瀬小学校のグラウンドを活用し毎週土曜日に行うことになり、サッカークラブに入会したのがYMCAとの関わりのはじまりです。サッカーを通じて、他校小学生との交流、近隣YMCAとの交流試合、富士五湖での夏合宿など、さまざまな体験と交わりがありました。特に「リーダー」と呼ばれていたYMCAのスタッフのお兄さんたちは小学生の私にはあこがれの存在でした。いろいろと働きかけていただき多くの恩恵を受けたことを記憶しています。今だからこそこのように感謝の思いを抱けるのですが、クリスマスチャンホームで育った子どもの私にはキリスト教精神に基づいたYMCAは教会同様に自然となじむ「コミュニティ」でした。そのためYMCAのキリスト教精神に初めて接した方々が抱くであろう新鮮な感覚は弱かったようにも思います。多くの方々にYMCAとの豊かな出会いがあることを祈ります。

現在、湘南とつかYMCAと戸塚区内のキリスト教会(教派を問わず)が共に戸塚地域の方々にクリスマスのお祝いを伝える「クリスマス会」を企画しています。2018年夏の屋下がりのごとく、旅先の京都寺町通の喫茶店で隣にいた男性と会話が見慣れたYMCAのロゴマーク! YMCA三条保育園職員の方でした。お互いYMCAにつながっていることを知り、驚いた不思議な導きも「My Story」として追記します。

## My Story

172

### YMCAでの豊かな出会いに感謝 地域で恵みを発信する働きに期待

湘南とつかYMCA運営委員

岡安 良



▲湘南とつかYMCA30周年記念感謝会にて運営委員・ワイズメンスクラブの方たちと(右端2024年3月30日)